

種別	公開・出版日・データ利用可能年	機関・著者等	タイトル	概要	リンク
GHG排出係数一覧	-	環境省/経済産業省	算定・報告・好評制度における算定方法・排出係数一覧	地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)の改正により、H18年4月1日から温室効果ガスを相当程度多く排出するものに、自らの温室効果ガスの排出量を算定し、国に報告することが義務付けられたのに伴い、公表された。	http://www.env.go.jp/earth/gbg-santeikohyo/material/titan.pdf
GHG排出量算定・報告・公表制度関連資料一覧	-	環境省/経済産業省	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度についての関連情報が入手できる。	http://www.env.go.jp/earth/gbg-santeikohyo/material/
GHG算定マニュアル	-	環境省/経済産業省	温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer2.4	平成17年に改正された温対法に基づく(温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度)について、その内容や、各事業者が報告対象かどうかを判定し、報告する排出量を算定し、報告するために必要な事項を解説するもの。	http://www.env.go.jp/earth/gbg-santeikohyo/manual/index.html
事業者からのGHG排出量集計報告書	平成20年3月28日(平成21年1月16日修正)	環境省地球環境局地球温暖化対策課/経済産業省産業技術環境局環境経済室	地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による平成18年度温室効果ガス排出量の集計結果	改正法(温対法)施行後初年度となる平成18年度の温室効果ガス排出量について、事業者等から報告のあった排出量を事業者別、業種別及び都道府県別に集計し、取りまとめられたもの。	http://www.env.go.jp/earth/gbg-santeikohyo/kouhyo/
事業者からのGHG排出量集計エクセルデータ	-	環境省地球環境局地球温暖化対策課/経済産業省産業技術環境局環境経済室	地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による平成18年度温室効果ガス排出量の集計結果	改正法(温対法)施行後初年度となる平成18年度の温室効果ガス排出量について、事業者等から報告のあった排出量を事業者別、業種別及び都道府県別に集計し、取りまとめられたもの、エクセル形式の電子データ。	http://www.env.go.jp/earth/gbg-santeikohyo/kouhyo/index.html
環境統計集	-	環境省	環境統計集H20年版	環境の状況に関するデータのみならず、環境問題の原因となる環境への負荷に関するデータ(人口、エネルギー使用量、廃棄物量など)や、環境問題に対して講じた施策に関するデータがエクセル表で幅広く提供されている。	http://www.env.go.jp/doc/toukei/contents/index.html
オフセット・クレジット制度概要	-	気候変動対策認証センター	オフセット・クレジット制度	環境省による「カーボン・オフセットに用いられるVER(Verified Emission Reduction)の認証基準に関する検討会」の議論におけるオフセット・クレジット(J-VER)制度に基づいて発行される国内における自主的な温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトから生じた排出削減・吸収量を目指す。カーボン・オフセット等の自主的な取組に活用可能である。	http://www.dci.org/iver.html
オフセット・クレジット発行対象プロジェクト種類リスト	平成21年3月10日改訂	気候変動対策認証センター	オフセット・クレジット(J-VER)制度におけるポジティブリスト	オフセット・クレジット(J-VER)発行の対象とするプロジェクトは、オフセット・クレジット(J-VER)制度が存在しない場合に比べて(追加的)な温室効果ガス排出削減をもたらすことが求められる、という考えから、積極的に促進支援すべきプロジェクト種類を予め特定し、ポジティブリスト及び適格性基準として公表している。	http://www.dci.org/iver/document/iver_positive_list.pdf
化石燃料代替、森林吸収源等によるGHG削減算定やモニタリングの方法論	平成21年3月10日改訂	気候変動対策認証センター	オフセット・クレジット(J-VER)の排出削減・吸収量の算定及びモニタリングに関する方法論	ポジティブリストに挙げられている、化石燃料代替、森林吸収源等プロジェクトに関する排出削減・算定及びモニタリングの方法論が解説されている。	http://www.dci.org/iver/document/iver_method.pdf
ウッドマイルズ算出マニュアル	2008年7月14日	ウッドマイルズ研究会	ウッドマイルズ関連指標算出マニュアルVer.2008-01	ウッドマイルズとは、木材の輸送に関する新しい環境指標であり、それに関連する指標算出方法が解説されている。	http://woodmiles.net/cgi-2008/cgi-manual/gallery.cgi?no=6
CO2排出原単位/産業連関表	2002年3月1日	国立環境研究所 地球環境研究センター	産業連関表による環境負荷原単位データブック(3EID)-LCAのインベントリデータとして	日本の経済活動部門別にエネルギー消費とCO2排出量に加えて大気汚染物質の排出に関する原単位を算出し取りまとめたもの。	http://www.cger.nies.go.jp/cger-j/db/co2.html
木材/炭素フローデータ	2004年3月1日	国立環境研究所 地球環境研究センター	日本における伐採木材のマテリアルフロー・炭素フローデータブック	木材を対象として、経済内のマテリアルフローを推計し、投入産出表の形で記述、経年的に取りまとめたもの、また、炭素フローも同時にまとめたもの。	http://www.cger.nies.go.jp/cger-i/db/D034.html
バイオマスタウンについて	平成16年8月募集開始	農林水産省	バイオマスタウン	持続的に発展可能な社会「バイオマス・ニッポン」の実現に向け、地域のバイオマスの総合的かつ効率的な活用を図るバイオマスタウン構想を募集し、公表している。その概要が説明されている。	http://www.maff.go.jp/i/biomass/b_town/index.html
バイオマスタウンデータ	-	-	バイオマスタウンマップ	これまで公表されているバイオマスタウン構想がここに公表されている。	http://tools.biomass-hq.jp/town/
バイオマス情報プラットフォーム	-	株式会社東大総研	バイオマス情報ヘッドクォーター	バイオマス活用推進のための情報拠点	http://www.biomass-hq.jp/
バイオマス資源情報一覧・計算	-	株式会社東大総研	基礎データ・資源統計・資源解説	バイオマス資源の情報が一覧となりダウンロードできる。	http://www.biomass-hq.jp/data/index.html
地域未活用資源・CO2削減に関する情報プラットフォーム/計算ツール	平成17年公開開始	文科省リーディングプロジェクト一般・産業廃棄物・バイオマスの複合処理・再資源化プロジェクト、プロセッシンググループ	PEGASUS(持続社会のための公共的なエネルギー環境問題の大規模解析ツール)	各種廃棄物・バイオマスエネルギーの発生量や賦存量をデータベース化し、全国各地域の状況を把握したり、地域の未活用エネルギー資源等情報を入力し、インターネット上で市民や関係者が、特定の地域における特定技術の導入やシステムの大規模な変更の効果(CO2削減量、コスト等)を大まかに評価できる。	http://www.pegasus-web.org/pegasus/ControllerServlet?mode=title
局所風況マップ	-	NEDO	局所風況マップ	全国風況マップが閲覧できる。	http://app2.infoc.nedo.go.jp/nedo/index.html
新エネルギー導入ガイドブック	2008年	NEDO	新エネルギー導入ガイドブック	新エネルギー導入方法を理解するためのガイドブック。	http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/pamphlets/dounvuu/shinene_gaido2008/
風力発電導入ガイドブック	2008年2月改訂	NEDO	風力発電導入ガイドブック(第9版)	風力発電の導入意義、風力発電の現状、導入事例、並びに実際に導入を行う際に必要となる調査等の検討の進め方などが解説されている。風力発電導入のガイドブック。	http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/pamphlets/bunya/08_4ene.html
マイクロ水力導入ガイドブック	平成15年3月	NEDO	マイクロ水力発電導入ガイドブック	マイクロ水力発電の導入者(個人、企業、自治体等)を主対象として、マイクロ水力発電を導入するための具体的な作業を分かり易く説明している。	http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/pamphlets/bunya/08_4ene.html
人工林収穫表作成プログラム	-	森林総合研究所	収穫表作成システムLYCS	スギ・ヒノキ・カラマツ人工林に対して適切な間伐計画の指針を提供することを目的として開発されたマクロプログラムで、このプログラムを使い、収穫表を作成することができる。	http://www2.ffpri.affrc.go.jp/labs/LYCS/index.html
水文水質データベース	-	国土交通省	水文水質データベース	水文水質にかかわる国土交通省河川局が所管する観測所における、雨量、水位、流量、水質、底質、地下水位、地下水質、積雪深、ダム堰等の管理諸量、海象の観測データを公開している。	http://www1.river.go.jp/
バイオマス資源データベース	-	NEDO	バイオマス賦存量・利用可能量の推計 GISデータベース	地域別に5項目18種のバイオマス賦存量と利用可能量を表示することができる。	http://app1.infoc.nedo.go.jp/
バイオマスエネルギー導入支援データベース	2007年5月公開開始	NEDO	バイオマスエネルギー導入支援データベース	利用可能なバイオマスの種類と量の情報から、(電力、熱などの)エネルギーコスト、また、エネルギー生産設備導入および運用が経済的に成立するためのバイオマス調達価格の試算ができる。	http://app2.infoc.nedo.go.jp/biomass-db/
地域新エネルギー省エネルギービジョン策定のためのガイドライン	2008年8月	NEDO	地域新エネルギー省エネルギービジョン策定ガイドライン	地域新エネルギー省エネルギービジョン策定過程及び策定後の導入段階について、具体的な成果達成につながる知見・ノウハウをまとめたもの。	http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/pamphlets/dounvuu/vision_sakutei/index.html
新エネルギービジョン	2008年6月9日	環境エネルギー政策研究所	2050年新エネルギービジョン	2050年に低炭素社会を目指す上で、自然エネルギーに注目して、日本で2050年までに最大限導入しうる可能性を検討したもの。	http://www.isep.or.jp/event/080603sympoGEN_ISEP/ISEP_Year2050_RE_Vision20080603.pdf
脱温暖化研究シナリオ検討	平成16年度～20年度	国立環境研究所ほか	脱温暖化2050プロジェクト	日本における中長期脱温暖化対策シナリオを構築するために、技術・社会イノベーション統合研究を行い、2050年までを見越した日本の温室効果ガス削減のシナリオとそれに至る環境政策の方向性を提示したもの。	http://2050.nies.go.jp/index_j.html
脱温暖化研究シナリオ検討	-	滋賀県琵琶湖環境科学研究所センター	持続可能社会の実現に向けて	センターに設置された持続可能社会研究会が、持続可能な滋賀の将来像に関する研究に取り組み、2030年温室効果ガス半減の持続可能社会の実現に向けた検討内容や滋賀シナリオがダウンロード可能。	http://www.iberi.jp/root/jp/01topics/scenario.htm
アジアバイオマスデータベース	公開中	電力中央研究所	アジアバイオマスデータベース	各国の統計データに基づいてアジア地域21ヶ国の地域別バイオマス賦存量を、未利用系を含めて推計し、そのデータを地理情報システム(GIS)を用いてマッピングした画像を、Googleを活用して広く一般に公開したもの。	http://asia-biomass.com/
市町村別温室効果ガス排出量推計データ	利用可能年 2000、2003	環境省/環境自治体会議	市町村別温室効果ガス排出量推計データ	環境省委託による、市町村別のCO2排出量(民生家庭、民生業務、製造業、交通、農業、廃棄物)、メタン、一酸化二窒素、フロン類についての推計データ。	http://www.colgei.org/ 直のリンクがないため、トップページ下の「環境省委託事業」をクリックし、「市町村別温室効果ガス排出量推計データ」のページに行き、同ページの下の「詳細推計データ集(Excelファイル)」をクリック
マクロデータ	利用可能年 1983,1988,1993,1998,2003	国立環境研究所	マテリアルフローデータブック -日本を取りまく世界の資源フロー-	1983,1988,1993,1998,2003年の世界のマテリアルフローデータとフロー図。 下段の「フロー」ボタンを開いてページをくわいていくと世界地図は動かかないため、フローの線だけが変化し変化動向がわかりやすい。 金額ベースだが、「IT国際貿易マトリックス」(2006最新データ)もある(デジタルデータは有料)。	http://www.cger.nies.go.jp/publication/D040/cd/index.html http://www.cger.nies.go.jp/publication/D040/cd/HTML/Flow_JPN.htm
マクロデータ	利用可能年 2000、2003	IEA	IEA Energy Statistics	各国のエネルギーデータ	http://www.iea.org/Textbase/stats/index.asp
マクロデータ	利用可能年 1751-2005	Oak Ridge National Laboratory	Global, Regional, and National Fossil-Fuel CO2 Emissions	1751-2005年をカバーする各国の排出量データ	http://cdiac.ornl.gov/trends/emis/overview.html
つくば3Eフォーラム	-	筑波大学、産業技術総合研究所、国立環境研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、茨城県、つくば市など	つくば3Eフォーラム	2030年までにつくば市の二酸化炭素排出量50%削減を実現し、2030年～2050年まで全国展開するため、現在散在している技術情報を集約するとともに、具体的な省エネ都市作りに向けた技術的・システムの課題を提示するためにつくられたフォーラム。これまで2回行われたフォーラム会議では、脱温暖化社会構築のための技術展望や都市づくりに関わる講演	http://www.sakura.cc.tsu.kuba.ac.jp/~eeeforum/index.html
住宅内のエネルギー調査	利用可能年 2002 - 2004年	住宅用エネルギー消費と温暖化対策検討委員会	住宅におけるエネルギー消費量データベース	「調査住宅の基本データ(住宅属性、構成部材、家族人数など)」「日積算エネルギー消費量」「年間積算エネルギー消費量」「夏季の室温と空調用エネルギー消費量」「夏季の用途別エネルギー消費量」「冬季の室温と空調用エネルギー消費量」「冬季の用途別エネルギー消費量」「日平	http://tkkankyo.eng.niigata-u.ac.jp/HP/HP/index.htm